

日高支部だより

2018.vol 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 3月30日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

平成30年度(第65回)日高支部通常総会開催

～事業計画(案)ならびに予算(案)を確認～



日高管内の会員約40名が出席



総会議案



支部表彰(副支部長が代理)

平成30・31年度 役員体制

支部長	山下 聡	(新ひだか町)
副支部長	村田 貞光	(新冠町)
"	菊地 峰生	(えりも町)
事務局長	高橋 幸二	(新ひだか町)
理事	門野 智	(日高町)
"	津川 司	(平取町)
"	古川 昌広	(新冠町)
"	袴 英臣	(")
"	小松 和彦	(新ひだか町)
"	森 勝利	(")
"	森 田正広	(")
"	嶋 克昭	(")
"	高田 良一	(浦河町)
"	大谷 晃平	(")
"	小田 真	(")
"	田村 勝弘	(")
"	八谷 龍二	(様似町)
"	田頭 教行	(")
"	岡崎 忠智	(えりも町)
監事	谷 茂樹	(新ひだか町)
"	齋 智光	(新冠町)
顧問	土井 宗太郎	(浦河町)
相談役	木原 宗孝	(新ひだか町)
"	池田 尚登	(様似町)
青年委員長	亀田 誠	(新ひだか町)
副委員長	津山 浩	(")
"	久保 美津之	(えりも町)
幹事	前田 智洋	(日高町)
"	谷山 勝広	(平取町)
"	栗山 匠太	(新冠町)
"	草野 潤	(")
"	村田 直樹	(新ひだか町)
"	隅谷 耕太朗	(")
"	大野 啓輔	(浦河町)
"	松田 剛之	(")
"	酒井 高史	(")
"	渡邊 忍	(様似町)
"	岩間 孝太	(えりも町)
"	川崎 優慶	(")

3月に開催予定の(一社)北海道建築士会通常総会に先立ち、2月3日(土)、浦河町の浦河ウエリントンホテルにて、日高支部の通常総会が開催されました。

土井支部長のあいさつの後、①会員の動静、②平成29年度事業報告、③平成29年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、続いて、①平成30年度事業計画(案)、②平成30年度収支予算(案)の2件の議案が提案され、すべて承認されました。なお、今年度の親睦事業の開催地は、新冠町の予定となっておりますので、みなさまのご参加、よろしくお願いたします。

本総会では、役員改選が行われ平成30年度、31年度における体制が決定されました。新支部長を筆頭に新しい体制となった支部をみなさまで盛り上げていきましょう。

総会終了後は、恒例の懇親会が執り行われました。木原副支部長の乾杯の後、懇談をはさみ、豪華景品が並ぶもなかなかビンゴの出ないBINGO大会、さらには、新潟県魚沼産コシヒカリ争奪、土井支部長とのジャンケン大会と、例年同様、楽しいひと時となりました。池田副支部長の締めによりつつがなく総会を終えることができました。

日高支部だより

2018. vol. 2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 4月 2日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

全道青年委員会連絡会議 開催

～『建築士の”より良い”を目指す』～



高野会長＝来賓あいさつ



研修会の様子 新技術セミナー



朝倉委員長＝主催者あいさつ



朝倉委員長＝懇親会開会あいさつ



懇親会の様子 建築絵心クイズ大会

3月31日（土）、札幌市かでの2・7 701会議室で、平成30年全道青年委員会連絡会議が開催され、全道各地から71名の各支部青年委員会役員等が参集し、当支部からも亀田青年委員長、隅谷幹事、酒井幹事、渡邊幹事が出席しました。

この会議は、各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、一年間の青年委員会の事業方針、事業計画及び予算について報告するとともに、建築士の育成を目的とした研修会等を行い、青年層の資質の向上を図る場として開催しています。

本年も、会議の後、研修会を開催。第一部では会員が行政機関や現場管理など幅広い職種が共通して興味のあるセミナーとして新技術のセミナーを開催し、第二部では前年の全国大会京都大会で開催された地域実践活動発表会のVTR鑑賞会が行われました。個人ではなかなか得られない団体ならではの研修会で多くの青年会員は貴重な情報を共有することができました。

懇親会では、恒例となった建築に関するクイズをさらに「絵心」で表現する大会として開催。難問に頭を抱えながら、笑いを誘う芸術作品からボケてスベる作品まで楽しくも悩ましい戦いが繰り広げられました。